

塵芥収集車援助事業報告書

平成17年度

タンザニア連合共和国 ダルエスサラーム市



平成18年8月

社団法人 日本外交協会

1. 本事業の趣旨

日本において、救急自動車・消防自動車・塵芥収集車といった特殊自動車は、自治体の管理下で所有・利用され、一定期間の後に廃棄される。ただし、処分直前までは予備車として、各消防本部や各自治体にて整備された状態で保管されているのが通常である。日本国内で使用し続けることが困難になった中古車両でも、使用中の保管・整備が徹底されているため状態は良く、このような車両が不足している開発途上国からは、ぜひ使用したいという要請が多い。

社団法人日本外交協会では、各自治体やその消防本部に対して、車両廃棄予定を調査の上、要請条件に合うものを譲渡していただけるよう、協力を依頼している。譲渡を受けた車両は、引き取り、整備・修理、輸送の手配等を日本外交協会の責任において行い、要請のあった途上国に送り届けることになる。その際には、外務省と協議しながら、政府開発援助（ODA）の中の「リサイクル草の根無償資金協力」を利用し、その後5年間程度は使用してもらえるような状態で現地へ搬送している。

2. 要請団体

タンザニア連合共和国ダルエスサラーム市

3. 供出団体

埼玉県・川越市（2台）／さいたま市（4台）（順不同）

4. 譲与物資

塵芥収集車 6台

川越市	1) いすゞ	NKR66E7485361 (1996年製)
	2) いすゞ	NKR66E7485362 (1996年製)
さいたま市	3) いすゞ	NKR66E7507536 (1997年製)
	4) いすゞ	NKR66E7507537 (1997年製)
	5) いすゞ	NKR66E7507547 (1997年製)
	6) いすゞ	NKR66E7507548 (1997年製)

5. 実施の経緯

<要請の背景>

タンザニアの首都であり、最大の都市であるダルエスサラーム市では、近年地方から人口が集中しており、ごみの量も増加の一途をたどっている。特に熱帯地域では、ごみ問題は公衆衛生の面から考えても早急に解決しなければならない問題

である。ダルエスサラーム市のごみ収集は民営化が進められているが市の管轄地域もあり、市が保有する塵芥収集車は少なく急増するごみに対応しきれていない状況にある。そのため塵芥収集車の台数を増やすことが緊急に求められていた。ダルエスサラーム市はイララ、キノンドニ、テメケという3つの行政区に分かれており、今回寄贈した6台の車輛は各区2台ずつ配備された。

<輸送と整備について>

車輛は日本の国内で整備した上で輸出している。内部の装備点検、必要な部品の交換、外装塗り直しに加え、車輛の前面には交差して並ぶタンザニアと日本の国旗を、及び側面には日本の援助として送ったことを示す援助マークを貼付している。

<セレモニーについて>

2006年6月29日にダルエスサラーム市役所内にて行われた引渡し式にはタンザニアからはダルエスサラーム市のA.キンピサ市長、塵芥収集車を配備する市内3つの区のイララ区長、キノンドニ区長、テメケ区長をはじめとするダルエスサラーム市関係者、在タンザニア日本大使館からは池田勝也大使、大使館関係者、他マスコミ関係者多数が出席して行われた。

6. 輸送日程

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| 平成16年10月 | 正式な車輛要請状が、ダルエスサラーム市から届く |
| 9月21日 | ダルエスサラーム市、日本大使館と「草の根無償資金協力」供与契約書名。 |
| 9月26日 | ダルエスサラーム市と、日本外交協会の間で、車輛譲渡に関する合意文書交換。 |
| 平成17年11月6日 | 横浜港より出港 |
| 12月初旬 | ダルエスサラーム着 |
| 平成18年6月 | 通関手続き車輛引取完了 |
| 6月29日 | ダルエスサラーム市役所内にて、引渡し式 |

※ 通関規制が厳しくなっており、免税手続きや通関完了までに長い時間がかかりました。

— 別添資料 —

- ・ **【地図】** タンザニア連邦共和国 ダルエスサラーム市の位置
- ・ タンザニア連合共和国 基本情報
- ・ 引渡しセレモニー 式次第（英語版）
- ・ 写真：引渡しセレモニー当日の様子

—資料【地図】—

タンザニア ダルエスサラーム市の位置 ●

アフリカ大陸



タンザニア連合共和国—基本情報—

(出典：外務省HP)

面積	945 万 km ² (日本の約 2.5 倍)	
人口	3,760 万人(2004 年)	
首都	ドドマ(法律上の首都、人口約 76 万人) (事実上の首都はダルエスサラーム(人口約 250 万人))	
住民	スクマ族、マコンデ族、チャガ族、ハヤ族等(約 130)	
言語	スワヒリ語(国語)、英語(公用語)	
宗教	イスラム教(31%)、キリスト教(25%)、伝統宗教(44%)	
略史	1881 年	ドイツ領となる。
	1920 年	英国委任統治領となる。
	1961 年	独立(ニエレレ首相)
主要産業	<p>農業: GDP の約 50%を占める[クローブ、コブラ、メイズ、バナナ、キャッサバ、米、豆類; 換金作物(コーヒー、綿花、タバコ等); ザンジバルでは、コブラ、やし油]が、重要性は低まりつつある。</p> <p>鉱業: 金、ダイヤモンド、タンザナイト等貴金属</p> <p>工業: サイザル麻・タバコ等、農産物加工</p> <p>観光業</p>	
GNI	116 億米ドル(2004 年: 世銀)	
一人当たり GNI	320 米ドル(2004 年: 世銀)	
経済成長率	6.3%(2004 年: 世銀)	
物価上昇率	4.0%(2004 年: 世銀)	

Grant Assistance for Grass-root Human Security Project by the Government of Japan

Handing Over Ceremony for the Project for the Supply of
Six Recycled Refuse Collection Trucks in Dar es Salaam City

DATE: June 29, 2006

TIME: 10:00 a.m.

VENUE: Karimjee Hall

TIME TABLE:

- 9:40 Arrival of Embassy staff at Karimjee Hall
- 9:55 Arrival of His Lordship, Mayor and H.E. Ambassador
- 10:00 Opening
- 10:05 Speech from the Ambassador
- 10:15 Speech from the Mayor
- 10:30 Handing over (Keys)
- 10:40 Press comments and questions
- 11:00 Closing

PARTICIPANTS:

***DAR ES SALAAM CITY COUNCIL**

- His Lordship, A. Kimbisa (Mayor, Dar es Salaam City Council)
- His Lordship, A. Mwilima (Deputy Mayor, Dar es Salaam City Council)
- Their Lordships, Mayors of Ilala, Kinondoni and Temeke Municipals
- Mr. B. Kingobi (City Director, Dar es Salaam City Council)
- Municipal Directors of Ilala, Kinondoni and Temeke Councils
- Mr. E. Chinamo (Head of Waste management Department, Dar es Salaam City Council)
- Mr. C. Mwambene (City Engineer, Dar es Salaam City Council)
- Mr. P. Boma (Mechanical Engineer, Dar es Salaam City Council)

***EMBASSY OF JAPAN**

- H.E. Katsuya Ikeda (Ambassador of Japan to Tanzania)
- Mr. Hiroaki Kunihiro (Second Secretary)
- Mr. Yu Nakawa (Programme Officer)
- Ms. Mana Takemura (Programme Officer)
- Mr. Joram Rugemalila (Economic Cooperation)
- Mr. Laurent Katambi (Protocol)
- Mr. Ulimbakisya Spendi (Administration)

引渡式写真

本プロジェクトでは、日本からの中古塵芥収集車 6 台を、タンザニア連邦共和国ダルエスサラーム市へお贈りしました。各車輦は日本の自治体から無償で頂き、その整備・輸送にかかる費用は、日本政府の「草の根無償資金協力」(政府開発援助の一つ)の支援を受け、日本の人々の善意に支えられた国際協力となっています。

平成 18 年 6 月 29 日 ダルエスサラーム市役所内にて、引渡式が行われました。

1	車輦全風景(6台)	
2	池田 勝也・在タンザニア日本大使によるスピーチ	
3	ダルエスサラーム市のキンビサ市長(中央・右)と池田大使 池田大使からダルエスサラーム市へ、寄贈車輦が引き渡されました。	

<p>4</p>	<p>車輛のデモンストレーション 風景(1)</p>	
<p>5</p>	<p>車輛のデモンストレーション 風景(2)</p>	